



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第205号 (平成 31 年 4 月 15 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
第 29 回 森と花の祭典―「みどりの感謝祭」の開催について
 - 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(146)
 - 3 <森林・林業白書から>
「信州プレミアムカラマツ」信州産カラマツのブランド化の取組
 - 4 <樹をとりまくはなし>(26) ソメイヨシノと AKB
 - 5 <イベント情報>
 - ◆けもの道トレッキング de 婚活 in 清里
 - ◆第 60 回やまね学校～べたべた足跡名探偵になろう～
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
第 29 回 森と花の祭典―「みどりの感謝祭」の開催について
-

4 月 15 日から 5 月 14 日は「みどりの月間」です。期間中に実施される各種緑化行事の締めくくりとして、5 月 11 日、12 日の両日、第 29 回森と花の祭典―「みどりの感謝祭」を日比谷公園等において開催します。

本祭典においては、11 日に「みどりの感謝祭式典」、11 日及び 12 日の 2 日間にわたり、子供から大人まで楽しめる「みどりとふれあうフェスティバル」を実施いたします。

1 趣旨

森と花の祭典―「みどりの感謝祭」は、森林・樹木・花などの自然とのふれあいを通じてその恩恵に感謝するとともに、健全な青少年の育成や地球温暖化防止に資する緑化運動を推進することを目的としています。

2 開催日時及び場所

日時:平成 31 年 5 月 11 日(土曜日)11 時 00 分から 17 時 00 分
5 月 12 日(日曜日)10 時 00 分から 16 時 00 分

会場:日比谷公園 にれのき広場等

所在地:東京都千代田区

3 祭典の内容

みどりの感謝祭式典(11 日 11 時 00 分から 11 時 30 分頃)

みどりや森林に関して顕著な功績のあった方に贈られる「みどりの文化賞」の顕彰や地域の環境美化、緑づくりに取り組む皆さんに対する苗木と花の贈呈などを行います。

なお、本式典は関係者のみで行います。

みどりとふれあうフェスティバル(11日及び12日)

「森の恵みと木の温もりを五感でふれて、癒やされよう」をテーマに、木材関係団体や森づくり活動に取り組む団体、木づかい運動の応援企業、環境問題や生物多様性に関心の高い企業などによる100を超える「森で遊ぶ」「森で学ぶ」「森での健康づくり」などのブースが登場し、以下のような子供から大人まで楽しめるプログラムを実施します。

木のクラフト、きのこ・山菜、ジビエ料理などの販売

移动版フォレストアドベンチャー®、ツリークライミング®、森のヨガ、森のようちえんプチ体験などの体験プログラム

くまモン、ぐんまちゃんなどゆるキャラとのクイズ大会や東京消防庁音楽隊による演奏などのステージプログラム

森づくり活動、木づかい運動などの紹介 等

4 主催

農林水産省・林野庁、東京都、公益社団法人国土緑化推進機構、一般財団法人日本緑化センター、一般財団法人日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会

5 後援

内閣府、文部科学省、国土交通省、環境省、全国知事会、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、美しい森林づくり全国推進会議、健康保険組合連合会、全国健康保険協会

6 その他

詳しくは、みどりの感謝祭ホームページを御覧ください。

みどりの感謝祭ホームページ(<http://midorinokanshasai.com/>)

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(146)

北海道鷹栖町の森のようちえんを訪ねました。この森のようちえんは NPO 法人が主体となり、幼児が12名程度在籍しています。通常の活動は屋外、幼児たちの服装はスキーウエアです。今日は近所のレクリエーションの森で活動です。森に到着すると、まずは定番のそり遊び、思い思いの滑り方で楽しんでいます。すると、数人の幼児たちが探検に出かけました。幼児たちは枯れた木の幹を掘り、虫を探したり、水面が見えはじめた池に雪を投げたりしています。すると大切なソリが池に滑り落ちましたが、幸い水に浮かんでいます。「どうやってとればいいのか？」教師の投げかけに子どもたちは悩んでいます。すると、言葉で答えるのではなく一人の幼児が雪玉をソリに向かって投げました。見事雪玉が命中したソリは動き始めました。そこでみんなで雪玉をソリに向かって投げていきます。やがて、岸に着いたソリを無事回収！森で遊ぶと予期しない出来事が起こります。そんな時、指示されるのではなく自らの考えで行動することができる、この森のようちえんの幼児たちは自主性という大きな宝物を身につけているみたいです。

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から>「信州プレミアムカラマツ」信州産カラマツのブランド化の取組

中部森林管理局は、長野県と共同で、県内産の林齢 80 年以上の高齢級カラマツ人工林から径級 30cm 以上の良質な大径材丸太を厳選し「信州プレミアムカラマツ」と称して供給・販売を開始した。高齢級カラマツは、木材の性質が安定化し、ねじれが生じにくい成熟材が多くなること、スギやヒノキと比べ強度が優れていることに加え、心材部分が飴色で美しい木目になり、無垢の横架材(梁 はり、桁など)に適していること等の特徴がある。林齢 80 年生以上のカラマツの資源量は、長野県が全国一で、国内の45%を占めており、大正から昭和初期に植栽された人工林から高品質のカラマツを継続的に供給できる見通しが立ったことから、林業の成長産業化や地域振興へつなげる目的で、ブランド化して売り出すことにした。平成 29(2017)年 10 月 25 日には、上松町にある木曾官材市売協同組合の「日本美林まつり」の記念市において、「信州プレミアムカラマツ」の初競りが行われた。この競りには、北信、中信及び南信地区の国有林から 21 本、約 16 m³、小海町の民有林から 12 本、約 6 m³、合計 33 本、約 22 m³が出品され、その一部は通常の2倍以上の高額で落札されている。

(平成29年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹をとりまくはなし>(26) ソメイヨシノと AKB

サクラの品種を学ぶ勉強会で、一日サクラの花を見て回った。最初はきれいだが、だんだん飽きてくる。いや、結構きつい。「ああ、カンアオイの黒ずんだ花が見たい」。疲れ果てた私はサクラに悪意すら持ち、飲み会で「サクラの公園ばっか作って、ソメイヨシノってまるで AKB。アイドル公園ブームですよー」と皮肉を込めて言った。するとまわりから、まあ怒られ「ソメイヨシノは AKB じゃない！美空ひばりだ！」と1人の男性が熱くなっている。ソメイヨシノへの愛がすごい。でも私と同じ土俵(芸能界の人にたとえる)に立ってくれたことに感謝だ。でも、ソメイヨシノはかわいい花が一斉に咲いて、同じ遺伝子。AKB などのアイドルも華やかだけど、みんな同じ服着ていて(私は)見分けがつかない。アイドルは儲かる、サクラの公園は儲かる。そして葉にある蜜腺でアリを呼びボディーガードさせている。握手をご褒美に CD を買わせる。以上、似てないだろうか？本来は集団を作らないサクラ。山に咲くヤマザクラを眺め「こっちが美空ひばり！」と言ったらまた怒られるかな？とにやにやする。

(森林インストラクター 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

- ◆けもの道トレッキング de 婚活 in 清里
- ◆第 60 回やまね学校～べたべた足跡名探偵になろう～

◆けもの道トレッキング de 婚活 in 清里

4 月 21 日(日)

